

こだま

No.88

平成25年2月14日
熊本県多良木町議会発行

たらぎ議会だより

12月 定例議会

議長あいさつ P 2

補正予算、条例改正 P 3~P 4

石倉を歴史資料館へ P 5

一般質問 6議員が
町政を問う! ... P 6~P 11

どんどや (久米小学校)

雨にも負けず、風邪にも負けず無病息災、学力向上を願って!!

多良木町民体育館・武道館・多目的総合グラウンドを

「あいあいスポーツクラブたらぎ」(代表者:弥永 磨 氏)を指

平成24年度
補正予算

一般会計補正予算は、6,121万円を
追加し、総額65億5,819万円とする。

〈歳出の主なもの〉

☆介護・訓練等給付金 …………… 2,636万円



☆多良木町介護保険特別会計繰出金
…………… 1,770万円

☆県営経営体育成基盤整備事業
…………… 1,568万円

☆多良木町緊急地域経済対策事業
(住宅リフォーム)
…………… 720万円

☆町道湯原線改良工事
… 1,290万円



監査委員選任



柳瀬 博史 氏
(人吉:柳瀬博史税理士
事務所所長)

尾方 恵監査委員が、平成24年12月24日をもって任期満了となるため新たに選任されました。

特別会計補正

- ◎国民健康保険 … 765万円
- ◎下水道事業 …… 53万円
- ◎介護保険 … 1億4,015万円
- ◎後期高齢者医療 … 77万円

議長年頭あいさつ

住んでみたい町づくりを！



お慶びを申し上げます。

皆様方には、日頃より議会に対しましてあたたかいご支援、ご協力を賜っておりますことを心から感謝申し上げます。

ところで、一昨年起こった「東日本大震災」の被災地復興もなかなか進まないなか、昨年七月十二日には阿蘇地域を中心とした九州北部豪雨災害が発生し、この球磨地域にも大きな災害をもたらしました。被災された地域の早期復興を望むとともに、自然災害への備えの大切さを痛切に感じているところです。

新年あけましておめでとうございませす。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えるのことに、謹んで

また、生活に直接かわる政治を見ますと、昨年十二月に執行された衆議院選挙で自民党が圧勝し、安倍政権がスタートしました。長引くデフレと円高からの脱却をどうするのか、TPP（環太平洋連携協定）への対応、原発を含むエネルギー政策、中国・韓国との関係修復などの外交をどうするのか等々課題は山積しています。

米国では、年初めに減税失効と歳出の強制削減が重なる「財政の崖」回避の法案がぎりぎりの元日に上下両院で可決され、経済への深刻な打撃が及ぶ事態は回避されたとの報道があり、日本経済への波乱も取り敢えず回避されました。

県では、「幸せ実感4ヶ年計画」を策定し、危機管理の徹底、農業の6次産業化、新エネルギーの導入、広域観光・交流の推進などに取り組むとしています。また、県南地域活性化策として、フードバレー構想が打ち出されています。

このような中、多良木町は三年目となる「第五次総合開発計画」に基づき、「人口減少社会」、「高齢社会」、「低成長時代」それぞれへの対応を課題とし、「地域力」、「産業力」、「定住力」の向上に取り組んで

いきます。

議会としましては、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」について、執行部と充分討議し、住んでみたい町づくりを目指したいと思っております。

また、議会活性化特別委員会で「町づくりへの関わり」や「議会活性化に資すること」等について検討し、地方分権への役割を果たしていく覚悟です。

本年も内外の経済、社会情勢の厳しいなかですが、議会に与えられました町民の皆さんからの信託とご期待に添うべく、町、関係機関、諸団体の皆様と連携しながら、本町発展に向けて取り組んでいく所存であります。

どうぞ町民の皆様方の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう心よりお願いを申し上げます。

結びになりますが、この一年町民の皆様方のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

多良木町議会議長

鍋田清高

指定管理に！
定管理者に！

平成24年12月定例会は、12月12日から19日までの8日間開催され、専決処分の報告及び承認1件、条例等5件、同文議決2件、各会計補正予算5件、選任同意1件、議員発議1件、委員長報告3件が提案され、慎重に審議した結果、原案どおり可決しました。

また、一般質問には6名が登壇し、町長の考えを質しました。

3 黒肥地小学校に副担任増員をお願いする陳情書

近年、発達障害、学習障害、注意欠陥、多動性障害等、社会適応性に課題を抱える子ども達が増加傾向にある。そのような子どもを持つ保護者としては、その子がどんな事ができ、どんなことが苦手なのか、その子に合った支援を行い「誰もが自分らしく生きていける教育環境を整えてほしい」という切なる思いを持っておられ、さらに普通学級での学習を強く望んでおられる。町、教育委員会、学校が保護者との連携を密にし、最善の方策を講じられんことを望む。

※ 副担任＝現在、町では支援員という職名となっています。

(本会議・採択／反対者 高橋裕子議員)

反対
討論

高橋 裕子 議員

現状で充分対応できる

この陳情書が副担任を陳情するということを出ているところに反対討論をしたい。教育委員をしていたので、このことは詳しく理解している。

多良木町では熊本県でもトップ・レベルで支援員を配置してある。そこで乳幼児から療育に関する指導も充分されていると思う。ここで問題になるのは副担任を増員するということ、課題を持っている子供に対する対応である。その副担任を配置することで解消するということに問題を持ってきたところに反対しているわけである。多良木町の整った環境の中で、こういうことが陳情として上がってきたことに問題があると思う。というのも、この発達障害に対する認識、理解度が町民に対しても、保護者に対しても、教育が不足しているのではないか。これから発達障害に対する認識を高めるための教育をしていただきたいということ。副担任で対応するのではなく、今の支援の現状をもって町のほうでは充分に対応できていると思う。よって、そういう対応をしていただきたい。

平成24年12月10日開催

平成24年 第10回 議会全員協議会

協議事項

1 スポーツ施設指定管理について

多良木町総合型地域スポーツクラブ・あいあいスポーツクラブたらぎ（代表者 彌永 磨 氏）より、多良木町民体育館、多良木町武道館、多良木町総合グラウンド（野球場・陸上競技場）について指定管理を受けたい旨の申請書が提出されたため、執行部から「管理運営の基本方針」等について説明を受け、これを協議した。

2 黒肥地石倉（歴史資料館）の事業計画について

平成25年度より黒肥地地区（1区）の県道沿いにある石倉を、多良木町の文化発信の拠点として改修し、歴史資料館とする計画について執行部から「工事設計書」が示され、全体の計画概要について説明があり、これを協議した。

報告事項

- (1) 上の原住宅訴訟問題について
- (2) 黒肥地小学校屋内運動場の進捗状況について
- (3) 川辺川総合土地改良事業組合の解散について



黒肥地石倉

議 決 結 果

議案番号	件 名	議 決 年 月 日	議決結果
承認第6号	専決処分の報告及び承認について 平成24年度 多良木町一般会計補正予算（第3号）	平成24年12月12日	原案承認
議案第65号	多良木町公の施設における指定管理者の指定について	平成24年12月17日	原案可決
議案第66号	多良木町暴力団排除条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年12月17日	原案可決
議案第67号	多良木町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年12月17日	原案可決
議案第68号	多良木町環境美化条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年12月17日	原案可決
議案第69号	多良木町下水道条例の一部を改正する条例を定めることについて	平成24年12月17日	原案可決
議案第70号	川辺川総合土地改良区事業組合の解散について	平成24年12月17日	原案可決
議案第71号	川辺川総合土地改良区事業組合の解散に伴う財産処分について	平成24年12月17日	原案可決
議案第72号	平成24年度 多良木町一般会計補正予算（第4号）	平成24年12月17日	原案可決
議案第73号	平成24年度 多良木町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	平成24年12月17日	原案可決
議案第74号	平成24年度 多良木町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	平成24年12月17日	原案可決
議案第75号	平成24年度 多良木町介護保険特別会計補正予算(第3号)	平成24年12月17日	原案可決
議案第76号	平成24年度 多良木町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	平成24年12月17日	原案可決
同意第5号	監査委員の選任について	平成24年12月19日	原案同意
発議第7号	多良木町議会政務調査費の交付に関する条例の全部を改正する条例を定めることについて	平成24年12月19日	原案可決
平成24年 要望第7号	第二多良木地区基盤整備事業の新規採択についての要望書	平成24年12月19日	原案採択
平成24年 要望第11号	女性農業委員の登用に関する要望書	平成24年12月19日	原案採択
平成24年 要望第13号	黒肥地小学校に副担任増員をお願いする陳情書	平成24年12月19日	原案採択
	多良木町議会議員の派遣について	平成24年12月19日	可 決
	委員会の閉会中の継続審査申し出について	平成24年12月19日	可 決
	常任委員会の閉会中の所管事務調査申し出について	平成24年12月19日	可 決
	議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査申し出について	平成24年12月19日	可 決

■陳情・要望に関する特記事項

1 第二多良木地区基盤整備事業の新規採択について（要望）

多良木～久米においては昭和47年から60年にかけてのほ場整備事業完成後、年数経過とともに用水路の老朽化による漏水が著しく、用水不足や湿田化等が生じ、排水路の能力低下農業生産管理に支障をきたしている。農道も幅員が狭く事故の懸念もある。今後、生産性の向上、農地利用積促進、水田の汎用化、水田農業の安定のため土地改良施設の整備、更新が必要となるため。

（本会議・全会一致・採択）

2 女性農業委員の登用に関する要望書

女性農業委員の登用の必要性は農村現場の男女共同参画の拡大、食と農、また、農業の六次産業化を推進するため不可欠と思われる。女性農業委員の登用の手段として農業委員は公選制であるため、公選で登用するのが望ましいと思われるが公選制である以上、そのことに議会より強要、または介入は出来ないと思われる。議会が協力できるのは議会推薦枠の二席を女性枠とするのが適当と思われる。

（本会議・全会一致・採択）



吉瀬浩一郎議員

Q 県道人吉水上線拡張工事、 早期の住民説明が必要 方法を検討し、 A 現状の説明を早期に行う

質問 黒肥地3区の現場に行ってみると、土地の収用が止まったままになっているようにある。その理由を伺いたい。担当課長の説明

によれば、工事未契約繰越額と平成24年度分を合わせると七千八百万円の事業であり、町の負担が事業全体の五・五%で三百万円程度になると聞いている。前回の説明が行われて以来、だいぶ時間が経過しているようだが、この事業は住民生活に直結した事業であり、地域の関心の度合いも高い。広い意味で捉えるならば、人吉球磨の流通にとっても大きな意味を持つ事業である。町として、さらに積極的な関与が必要と思う。予算面も含めた県道拡張の現状について、また、今後の工事計画等について、熊本県の考え方など、黒肥地地区住民の方々に対する説明会の開催、あるいは説明のための文書を配布し、周知を図る方法等、いづれにしても説明の必要があるのではないか。

久保 環境整備課長 予算についてはそのとおり。土地の収用が進まない原因は、土地台帳の図面と、現地立会で作成した図面の位

置関係が異なっている。土地収用のための作業が進んでいないというのが主な原因。現在、熊本県も早期解決すべく専門家を入れて検討しており、町としても全面的に協力している。家屋補償については、熊本県から委託を受けた業者が、補償費の算出をすることになっている。前回の住民説明会は平成22年12月に行っている。事

業開始から約2年ほど経過しており、今後地元との協力が必要となるので、熊本県と協議しながら、なるべく早い段階で現在の状況を説明した文書の決裁を貰い、配布を検討したい。



県道33号線の黒肥地、茗の木地区

Q 「特別な理由」の場合は料金軽減すべき A ケースによっては今後検討したい

質問 9月議会のおり、中学校のプールで漏水があり、一般会計の学費で予算を組み、特別会計に支払ったことがあったが、この場合、町の損失は額にして如何ほどだったのか。過去に、きわめて社会的貢献度の高い町内の法人が、漏水により、月額約240万円の料金を支払われたと聞いた。上中球磨4町村の条例を見ると、そのすべてに

減免の規定があり「町長が、公益上、特別の理由があると認めるときは、軽減、免除ができる」という条例の規定がある。このケースは条例に言う「特別の理由」に該当するのではないのか。漏水が一定の量を超えた場合の減免措置や、料金緩和措置など、条例の中では考慮されているのか。減免をしたことがないというのであれば、条

例はあるけれども、実際には無いのと同じである、ということになる。無いに等しい条例をなぜ残してあるのか。いづれにしても「町長が認めるときは」という規定がある以上「減免」は考慮されてしかるべきではないのか。

久保 環境整備課長 24年度6月に中学校のプールで約1万トンの漏水があり、その場合の水道料は約170万円

であった。軽減や減免については、大きな災害等があり納付が困難な状況が発生したときには、上司と協議し検討することになる。
町長 当該法人の200万円を超える水道料については、説明し、了解され、分割で支払っていただいたという経緯があった。公平性を考えたときに、分割が町としてやれる精一杯の範囲と思う。条例に関しては、目的が減免措置ということでの条例なので、条例の内容を見ると議員の言われたとおりであると思う。町長の裁量という部分もあるが、個々によっても違うし、また、前例も判断基準となる。町として水道事業の維持費がかかる部分もある。しかし、弱者対策ということも含め、今後検討させて頂きたい。

- 全ての質問事項
- ① 人吉水上線道路改良工事について
 - ② 水道料金について

Q 南関町定住促進対策を参考に！

A 来年度予算に向けて、
今後検討したい！



久保田悦子議員

質問

南関町定住促進対策「住んでよかったプロジェクト推進事業」では「住宅取得補助金」・「転入者引越し奨励金」・「チャイルドシート購入助成金」・「保育料助成金」・「中学3年生までの医療費無料化」・「小中学校給食費補助金」・「新規雇用奨励金」等々、様々な対策がある。本町でも、若者の定住促進、子育て支援の充実を公約とされてきたが、



南関町定住促進対策パンフレット

今後、こうした事業を参考に町で取り組もうと思われる対策は何か。

町長 現在、予算査定中で決定していませんが、南関町の新築住宅固定資産の補助や転入者引越し奨励金とかは、

参考になると思います。また、出生祝い金については、来年度予算に向けて第一子より10万円に増額したいと思っています。小中学校給食費については、米の消費拡大及び給食費問題の観点から、米飯給食の米代助成も今後検討したいと思っています。

Q

A

中学3年生までの医療費無料化を！
来年度に向けて私の責任で実施！

質問

南関町では中学3年生まで医療費無料化を実施していますが、この間私は、なぜ中学生までの医療費無料化が必要だということを、今まで何回も質問してきました。一つは貧困と格差の広がりのおかげで、医療費負担が重くなっているのに、自分でお金を稼げることで、きない義務教育までの子どもたちの健康と命を守るという観点から、中学3年生までの医療費無料化は必要だと思っていますが、どのようにお考えか。

前田 健康保険課長

現在、中学3年生ま

での医療費無料化を実施している管内の自治体は、錦町・水上村・相良村・五木村・山江村の五つの自治体を実施している、小学6年生までが、多良木町・あさぎり町・湯前町・球磨村の四つの自治体です。人吉市は、就学前という実態です。

町長 各町村は、財政的に大変厳しいなか実施されていますが、来年度については、中学3年生までの医療費無料化を私の責任において実施していきます。

全ての質問事項

- ① 子育て支援策について
- ② 障がい者支援について
- ③ 老朽化した橋梁や道路の補修・改修について
- ④ 町長の公約について



多良木中学校



中村正徳議員

Q 町有牛導入貸付事業復活の考えは

A 25年度から新たな制度で検討中

質問 畜産振興に大きく貢献した町有牛導入貸付事業については、大変畜産農家に喜ばれたと聞いております。現在この制度が事業終了となっておりますが、今後この事業は本町の畜産振興がますます栄えて行く事業と思えますので、この事業を復活する考えはないか伺います。



郡共進会でグランドチャンピオンになった「なつ号」

松崎

農林課長

この導入事業は平成10年から3ケ年間で30頭導入しました。非常に成果が出て今年度の郡共進会においては一部・二部とも名誉賞の主席でその中のグランドチャンピオンとなり好成績を収めました。今後においては系統等も変わってきておりますので新たな制度を制定して平成25年から対応できないか検討しているところです。

質問 公立第一保育所、第三保育所の今後につきまして、専門部会で12月までには答申を出すと言うことを伺っております。現在どのような状況で論議がなされ取り組みされているかお伺いしたいと思います。

西 子ども対策課長
二保育所のあり方については、町長より多良木まちづくり推進委員会に諮問されました。行政改革専門部会の8名の委員により待機児童が出ないよう二保育所は残す方向で現在会議がなされております。

Q 公立第一保育所・第三保育所の今後は

A 一二保育所とも残す方向に決定

質問 公立第一保育所、第三保育所の今後につきまして、専門部会で12月までには答申を出すと言うことを伺っております。現在どのような状況で論議がなされ取り組みされているかお伺いしたいと思います。

町長 公立保育所の問題につきましては、町

全ての質問事項

- ① 予算編成について
- ② 一次産業の振興について
- ③ 雇用対策について
- ④ 保育所問題について

子ども達にとつて一番良い方法でとお願いしておりますので、目的のもと答申が出るかと考えております。



残す方向になった第三保育所



皆越秋廣議員

Q 空き家対策の考えは
A 所有者等の確認をして
適正な管理をお願いする

質問 空き家が増加し、

高齢化・過疎化が進むと倒壊による事故や犯罪の温床になりかねない。どのような対策を考えておられるかお伺いしたい。

田中 総務課長

空き家が倒壊による事故とか犯罪の温床になりかねないとともに、また不審火による火災とか、台風の際に瓦が飛んだりと非常に危険なものであり、環境・景観上もよくないことは皆さん承知のとおりであります。本町におきましても、適切な管理がなされていない危険な空き家等につきましては、住民の皆さん方の情報等を伺いなが

ら所有者等の確認をして適正な管理をお願いしていく必要があると思っております。また、現状では強制的な対応はできない訳ですので、他町村の実例などを参

考にしながら条例等の制定について検討し、対応していきたいと考えております。



空き家

Q 中学生までの医療費補助の考えは
A 来年度から無料化する

をあげている。この制度を中学生まで拡大する考えはないかお伺いします。

町長 子育て支援等を考えた時、現在の景気の厳しい状況の部分もありまして、医療費の問題につきましては、救済といえますが、補助的なものもあるわけですので、今回は、来年度から中学生までの医療費無料化を私の責任で実施します。

全ての質問事項

- ①町長の政治姿勢について
- ②空き家対策について
- ③乳幼児医療扶助について
- ④コメの生産調整について

質問 乳幼児医療扶助は、現在小学生まで実施されており、少子化対策として大きな成果



魚住憲一議員

質問 王宮神社楼門は昭和37年9月10日に熊本県指定重要文化財に指定され、人吉の国宝、青井阿蘇神社の楼門より約二百年古く、多良木町の一つの観光施設

Q トイレの設置計画は A 補助事業を優先して



王宮神社楼門

になっています。そこで王宮神社にトイレの設置の計画はできないか。

松本 企画観光課長

王宮神社楼門は県指定の重要文化財で、多良木町の主要観光スポットです。公衆トイレの設置については、前向きに検討しているところですが、神社横の町有地である駐車場を候補地として、熊本県の補助対象事業として、

教育委員会サイドも含め2件ほど該当するかもしれないという事業があり、補助事業を優先して考え、それに該当しなかった場合は、町の単独事業として取り組みたいと思います。平成25年度に可能か、26年度以降になるかは補助事業の動向が判明したところで、予算化させて頂きたいと思

います。

Q えびすの湯の今後の考えを A 前向きに進めていきたい

質問 木質バイオマスについて、九州電力も来春からの電気料金値上げを申請され、春以降は電気代も高くなる予想されます。今のまま電気代いくのか、木質ボイラーに切り替えるのか、えびすの湯の検討はどうなっているのか、今後の考えを。

松本 企画観光課長

メーカーにえびすの湯にバイオマスボイラーを導入した場合の比較検討資料の提案を依頼しているところです。また、九州電力より電気値上げの説明に由来、昨年10月から本年9月までの1年間で、電気料が2千289万円、今回の値上げの申請どおりした場合2千623万

円となる試算を示され、年間334万円、約15%近く値上げになります。バイオマスボイラーについては、多良木町でもチップ材はすぐに調達可能で、導入についてメーカー等の提案を受け、前向きに進めていきたいと思

います。今後、国の大型補正予算もあるという事で期待しているところ

です。

全ての質問事項

- ① 観光施設について
- ② 世代間交流グラウンド施設について
- ③ 木質バイオマスについて
- ④ 槻木夢ビジョンづくり事業について
- ⑤ 道路整備事業について

えびすの湯





村山 昇議員

Q 宅地分譲で若者の定住促進の考えは
A 定住促進の一つの手段として検討する

質問 今、非常に過疎化や高齢化で本町も悩んでいる状況である。人口増加をさせるには町外より町内に転入させることが一番であると思う。定住促進対策として、また地域の活性化のため、雇用の場を考へながら若者が定住するような宅地分譲事業を計画実施する考へはないかお伺いしたい。

考えておりませんが、今後、定住促進の中の一手段として検討していきたい。尚、雇用の場についても企業誘致がなかなか今の景気状態では出来ない状況でありますので、地場産業を頑張ってもらおうような方策も今取り組んでおります。

町長 今のところ宅地分譲をする考へはありませんが、定住促進の中の一つの方法としてはあるかと思ひます。定住促進対策は一つだけではなく総合的に実行していかないと難しいのかと思ひますし、実施計画の中でも



赤坂ニュータウン

Q 川辺川利水事業を早急に農家の意見を聞き取り調査し、手当てをする

質問 川辺川総合土地改良事業組合が解散されることですが、農家の方は早く水が来て欲しいという方がおられますので、早急に水を届けて欲しいと思ひます。今後は協議会で協議をし、事業を進めて行くとのことですが、どのような水源で取水配水される計画か取り組みについてお伺いしたい。

ていくと言うことですが、一番の心配は必要な水量が手当て出来るかでありませう。今、造成地から水路等の調査をしながら手当てをして早く届けたいと言うことで進んでおります。

松崎 農林課長

町長 造成地に関しては国が実施しなければならぬ責任が有りますので、農家個々に意見を聞きながら、水量については今六町村それぞれ意見を聞いて、それに基づいて実施し

農家の意向調査については95・4%の回収率で一応終了したもので、面積に対してどういう水源で実施していくか今検討しており、造成地の代表者と意見を交換しながら、農家の意見を良く聞いて今



早く水が欲しい果樹園

後の対策と整備方針に役立てていきたいと思っております。

- 全ての質問事項**
- ① 町政について
 - ② 川辺川総合土地改良事業について

熊本県町村議会議員研修会報告

県内町村議会議員全員の合同研修会が開催され、全員で参加して参りました。



- 日 時 平成24年11月6日(火)
- 場 所 熊本県立劇場
- 講 師 星 浩 氏(朝日新聞編集委員)
- 演 題 「日本の政治の課題と

これからの政治経済」

政治部にて首相官邸・自民党・外務省などを担当。

テレビ番組「サンデープロジェクト」

テレビ朝日系列のコメンテーターを務める。

混迷する日本経済、政治の課題と展望等、今後の政局とこれからの日本の姿を解り易く話されました。

先進地研修報告

九州産間伐材を原料に使った「杉ペレット・杉バイオ燃料」事業研修に南関町へ視察。

- 日 時 平成24年11月7日(水)
- 場 所 ◎九州杉バイオ事業協同組合 小原工場
◎南関町温泉福祉施設 うから館
(杉ペレット使用現場視察)
◎南関町トマト生産農家
(杉ペレット使用現場視察)



杉ペレット事業展開の為、熊本県も積極的に支援し、杉ペレット使用の農家に対し設備費の支援を展開中。

杉ペレット生産工場の本音は理念は素晴らしいが需要と供給のバランスがとれず経営は厳しいと言われる。

上球磨町村議会研修並びに交流会へ参加

多良木町・湯前町・水上村・あさぎり町
4ヶ町村の議会議員の研修

- 日 時 平成24年10月26日（金）
- 研修会場 多良木町多目的研修センター
- 交流会 多良木町世代間交流グラウンド
- 講演内容 「歴史に学ぶ地域づくりのあり方」
- 講談師 一龍齋 貞花 氏
（日本演芸家連合理事長）



- 内 容 講談の世界に新たな生命を吹き込んだ実力派講談師。古典のみならず現代の世相を活写した講談を発表。ビジネス・スポーツ・福祉問題など幅広いジャンルと絶妙な語り口で、地方の問題にも精通し、聴く人に元気を与える。人間教育の大切さを説き「米百俵」で長岡市より感謝状も受け、また法務省の瀬戸山賞（更生保護）も受賞されている。

地方に住む私達も活力の素を学びました。

町村議会広報研修会報告

町民の皆様に親しまれている議会だより「こだま」の編集委員で、町村議会広報研修会に参加してきました。

■日 時 平成24年11月28日（水）

■場 所 熊本市町村自治会館



◎第11回 町村議会広報コンクール表彰

◎パネルディスカッション

テーマ

「住民目標の議会広報を目指して、
一般質問の取り扱いを中心に」

コーディネーター

越地 真一郎 氏

これからも尚一層、誌面作りに努力し、議会だよりを通じて議会の様子をお知らせ致します。



新成人式 (2013年1月4日)

議会委員会シリーズ ③

■経済建設常任委員会って？

経済建設常任委員会の
議長は？ 委員長 山中 馨 副委員長 坂本 一郎
委員 吉瀬浩一郎 委員 魚住 憲一
所管の担当課は？ 農 林 課：農業振興係・林業振興係
環境整備課：建設係・下水道係・上水道係
農業委員会

定例会議中において、経済建設常任委員会所管課より、各種事業内容・進捗状況の説明を受け、質疑します。

12月の定例議会終了後の閉会中の継続審議は？

- (1) 農業、林業振興対策について
- (2) 町道、集落道の整備について
- (3) 川辺川土地改良事業等について
- (4) 上下水道の整備について
- (5) 林道の整備について
- (6) 町営住宅について
- (7) 公共施設の災害調査対策について

以上の審査及び調査を申し出ています。



編集後記

私自身、還暦を迎えつい自分が過した遠い時代を今の世代と比較してしまします。若者にとって、経済成長が止まり、仕事も仕事の選択幅も狭く更に負担ばかりが増え、いまだ雇用の期待も薄く、可哀想な世代です。よく今の若者は車や酒に興味が無く売れないと言われますが、若者に車や酒に興味が無い筈は有りませんが、企業がコストダウンに走り、仕事を少なくし非正規の雇用や海外シフトに変えた結果、車を買えるほど収入に余裕の無いのが実態では、私の過した時代は、貧しい時代では有りませんが、戦後の復興から経済成長へと国民が皆前向きでした。将来にも薄陽が差し希望が見えており、高度成長も経験しました。今は物質も豊富で生活には、便利な時代です。ポタン一つで情報が得られ、24時間物が買え、台所に包丁と炎が無くても料理ができます。私はもうこれ以上の便利が必要なのか考える事も有ります。便利を求めればお金が必要で全てが金で解決する風潮になっているのでは。反面、人の心が失われているのでは。昔は人との関わりから自然に学び、知らされ、ときに怒られ、その中から絆が生まれていました。身体は医療で治せますが、いまだ人の心を豊かにする妙薬は有りません。簡単に人を殺す時代で、一方では交通事故の死者一万人、自殺者が三万人を超えています。昨年の暮れより政局が変わり、本町でも四年に一度の町長選、期待も大きいですが、縁あってこの地で暮らす者同志、皆さんで力を合せて暮らしやすく生きて生き甲斐と潤いの有る生活になる様頑張りたいたいものです。

文責 瀬崎

広報特別委員会構成

- ◎瀬崎 哲弘 魚住 憲一
- 坂口 幸法 村山 昇
- 吉瀬浩一郎